

V スポーツ施設

1 スポーツ施設の再整備等の検討

高度化・多様化する県民のスポーツニーズに応えるために、スポーツ施設の再整備等の検討を進めている。

平成17年度に2005千葉きらめき総体陸上競技大会を開催、平成22年には国民体育大会陸上競技大会の会場となった千葉県総合スポーツセンター陸上競技場については、平成16年に耐震及び大規模改修が実施されたが、引き続き、同センターの再整備について、検討を進めているところである。

また、(仮称)スポレク健康スクエア用地については、当面の活用として、市原市が人工芝1面を含む4面のサッカーコート(市原スポレクパーク)を整備し、一般開放するとともに、2005千葉きらめき総体サッカー大会が開催され、平成22年度には国民体育大会の会場としても利用された。

その他、県内の地域スポーツの振興を図り、市町村における体育施設の整備を促進するため、国庫交付金の確保に努めることとしている。

(国庫交付金)

○学校施設環境改善交付金

- ・主な対象施設 地域スポーツセンター
水泳プール
地域屋外スポーツセンター
地域武道センター
社会体育施設耐震化
- ・補助率 1 / 3 (ただし、地震特措法第4条の規定の適用を受ける
浄水型プールは1 / 2)

2 指定管理者制度の導入

公の施設の管理運営に民間の能力を活用して、県民サービスの向上と行政コストの縮減等を図ることを目的に、平成18年度から、千葉県総合スポーツセンター東総運動場、千葉県総合スポーツセンター射撃場、千葉県国際総合水泳場の3施設に指定管理者制度を導入した。

また、平成21年度からは、千葉県総合スポーツセンターにおいても指定管理者制度を導入した。

施設名	所在地	指定管理者	指定期間
千葉県総合スポーツセンター	千葉市 稲毛区	千葉県体育協会・まちづくり 公社グループ	平成31年3月まで
千葉県総合スポーツセンター 東総運動場	旭市	(一財)千葉県まちづくり公社	平成31年3月まで
千葉県総合スポーツセンター 射撃場	千葉市 若葉区	千葉県ライフル射撃協会	平成31年3月まで
千葉県国際総合水泳場	習志野市	オーエンス・セントラル・千 水連グループ	平成31年3月まで

千葉県総合スポーツセンター

1 県総合スポーツセンターの概要

県総合スポーツセンターは、千葉市稲毛区天台町に総敷地面積約420,000㎡を有し、陸上競技場、野球場等12施設を擁する総合的な体育・スポーツ施設である。

また、千葉市若葉区小間子町に射撃場、旭市には東総運動場として陸上競技場と庭球場を設置している。

本センターは、昭和8年に総合運動場（千葉市中央区千葉寺町所在）として発足した。昭和30年代中頃オリンピック東京大会を控え、県民の体育・スポーツ振興の必要性が叫ばれ、昭和37年に県スポーツセンター建設計画が策定され、昭和38年の陸上競技場着工以来、別表に見られるように、昭和41年から47年の間にほとんどの施設が整備された。

昭和48年には第28回国民体育大会（若潮国体）が千葉県で開催されたが、そのメイン会場施設としての役割を果たし、大会の成功に貢献した。この国体を契機として、県民のスポーツ水準や競技力は飛躍的に向上し、県民の健康増進・体力づくりへの関心の高まりが、ファミリースポーツの隆盛やスポーツ人口の増加、体育・スポーツの日常化への大きな流れを形成させるに至った。

このようなスポーツの進展の中で、県総合運動場は県大会をはじめ、全国・関東大会等を開催する中核的スポーツ施設として、また、県民スポーツ教室や施設の一般開放等社会体育施設として広く県民の利用に供してきた。

平成11年6月15日にはスポーツ科学総合センターが開所し、利用者のニーズの多様化を反映して、体育・スポーツ活動のみならず、各種研修会・催物等多目的に利用され、県民の健康増進や生活・文化の向上のための開かれた場として、広く県民に親しまれ、活用されている。

なお、平成15年度に、総合運動場とスポーツ科学総合センターを機関統合し、名称を総合スポーツセンターに改めた。

千葉市稲毛区天台町の敷地内は都市公園としての機能も有し、園路にジョギングコースを設定したことから、施設の利用者以外にジョギング・ウォーキング愛好者の利用も多い。

こうした中、平成22年9月に開催された第65回国民体育大会（ゆめ半島千葉国体2010）においては、陸上競技大会及び閉会式の会場になった。

管理運営は、平成5年4月から（財）千葉県スポーツ振興財団に委託、平成18年4月から千葉県教育委員会が直轄していたが、平成21年4月1日から管理運営を指定管理者に委託した。

射撃場は、昭和46年4月から千葉県ライフル射撃協会に、東総運動場は、平成13年9月から（財）千葉県まちづくり公社に管理・運営を委託してきたが、平成18年4月1日から両施設とも管理運営を指定管理者に委託した。

各施設の概要は次ページのとおりである。

県総合スポーツセンター施設概要

施設	敷地 (㎡)	建築 面積 (㎡)	建築 延面積 (㎡)	完成	総工費 (千円)	収容 人員 (人)	駐車 台数 (台)	備考
スポーツ科学センター	3,488	1,868	5,794	平11. 3	2,767,603	—	普 14 障 2	トレーニングルーム (第1・第2) 形態・体力測定室 研修室(第1～第4) 多目的アリーナ 研究関係諸室等
陸上競技場	37,500	5,836	6,626	昭41. 3	424,000	30,000	障 9 時臨普 74	第1種公認競技場 全天候型舗装
第2陸上競技場	23,000	—	—	昭41.10	21,000	3,000	—	第3種公認競技場 全天候型舗装
野球場	23,400	4,063	3,574	昭43. 7	310,000	27,000	バス18 普 70 障 2	本塁センター間 120m 本塁両翼間 92m
軟式野球場	11,500	—	—	昭43. 3	7,800	224	—	本塁センター間 100m 本塁両翼間 90m
ソフトボール場	4,500	—	—	昭43. 3	5,800	224	—	本塁センター間 76.2m 本塁両翼間 76.2m
庭球場	20,000	338	475	昭41.10	75,500	6,000	—	砂入り人工芝舗装16面
サッカー・ラグビー場	32,000	400	400	昭45. 3	76,000	2,500	—	サッカー場、ラグビー場 兼用2面
体育館	12,500	5,631	7,774	昭47. 7	644,000	3,104	バス22 普 41 障 2	コート2面(バレー、バ スケット) 補助1面(バ レー、バスケ)
弓道場	4,450	912	908	昭47. 3	59,000	—	—	近的10人立 遠的 6人立
武道館	7,445	3,185	5,144	昭56. 3	749,300	624	普 79	第1道場 512畳 第2道場 270畳
射撃場	27,803	991 188	991 188	昭46. 6 昭60.11	135,000 18,780	—	—	上段:SBR射場, AR射場 下段:ヒートアップ射場
大駐車場	20,947	263	427	平22. 9	193,359	—	普 865 障 10	
駐車場	15,000	—	—	—	—	—	バス45 普 203	
宿泊研修所 (宿泊休止中)	6,188	1,742	3,477	昭42. 6	149,330	—	普 24 障 2	大ホール1室200人 研修室 3室230人 ※うち1室は休止中 和室(15畳) 2室50人 応接室 1室 ※宿泊室 24室 192人 (※は休止中)
東総運動場	120,112	—	—	—	4,495,406	—	普 301 障 3	
陸上競技場	—	2,523	3,935	平13. 3	—	15,000	—	第2種公認競技場 全天候型舗装
庭球場	—	—	—	平13. 3	—	540	—	砂入り人工芝舗装8面

平成20年 水泳場, 相撲場…廃止

2 施設の利用状況

(1) 利用人数

総合スポーツセンター総利用者数

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
総合スポーツセンター	788,848	805,151	807,000	860,595	822,984
総合スポーツセンター射撃場	4,571	3,603	3,795	4,116	4,581
総合スポーツセンター東総運動場	185,849	177,958	198,433	184,323	174,731
合 計	979,268	986,712	1,009,228	1,049,034	1,002,296

(2) 施設の無料開放

ア 総合スポーツセンター

- ・開放施設 第2陸上競技場，庭球場8面，体育館第2競技場，サッカー・ラグビー場，軟式野球場，ソフトボール場，武道館第2道場
(上記のうち大会等の開催予定のない施設)
- ・開放日 家庭の日(毎月第3日曜日)，県民の日(6月15日)及び体育の日(10月第2月曜日)の午前9時30分から午後4時30分まで
(施設により時間が異なる場合有り)
- ・開放施設 スポーツ科学センター トレーニングルーム及び多目的アリーナ
- ・開放日 県民の日(6月15日)及び体育の日(10月第2月曜日)の午前9時から午後9時まで

イ 東総運動場

- ・開放施設 庭球場3面
- ・開放日 県民の日(6月15日)及び体育の日(10月の第2月曜日)の午前9時から午後5時まで

3 事業概要

(1) 総合スポーツセンター

ア 県民健康体力測定相談

健康体力づくりを目指す県民の相談により体力測定を行い，個人の目的に応じたトレーニング指導・助言を行う。

イ スポーツ選手体力測定相談

競技力向上を目指すスポーツ選手の筋力・持久力等を専門的に測定・分析し，個人やチームの目的に応じた資料提供やトレーニング指導・助言を行う。

ウ トレーニング指導

県民一人一人に，健康体力づくりが行える場と機会を提供するとともに，トレーニング相談等をおし，安全で効果的な実践ができるよう指導・助言する。

エ 自主事業

○県民スポーツ教室開催

県民のスポーツに対する理解を深め，生涯にわたる健康・体力の保持増進を図り，明るく豊かで生きがいのある生活がおくれるよう，各種スポーツ教室を開催する。

教室名	実施時期	回数	種 目 名	
競技スポーツ系 (16歳以上)	4月～12月	8	テニス 2教室	各80名
	4月～12月	8	テニス 2教室	各60名
	1月～3月	8	卓球(初級)	36名
	1月～3月	8	卓球(中級)	36名
	7月～9月	8	バドミントン	30名
	1月～3月	8	バドミントン(夜の部)	20名
ニュースポーツ系 (16歳以上)	4月～12月	8	カルディクウォーキング&ストレッチ 2教室	30名
	7月～9月	8	バウンドテニス	30名
	10月～12月	8	グラウンドゴルフ	30名
キッズ・ジュニア系	5月～11月	5	親子ふれあい教室(3歳からの幼児と保護者) 2教室	各35組
	5月	1	かけっこ教室(小学校 低学年と保護者)	30組
			〃 (小学校 高学年)	30名
	5月～6月	8	キッズダンス教室(初級・小学生)	30名
	7月～9月	8	キッズダンス教室(中級・小学生)	30名
	7月～12月	8	バスケットボール(中学生) 2教室	各30名
	10月～12月	8	バドミントン(中学生)	30名
ヘルスアップ・フィットネス系 (16歳以上)	4月～3月	10	ヨーガ(はじめて・リラックス・エンジョイ) 8教室	各40名
	4月～3月	10	ボクシングシェイプ 4教室	各40名
	4月～3月	10	ズンバ 12教室	各40名
	4月～12月	10	シェイプエアロ&骨盤エクササイズ 4教室	各40名
	4月～3月	10	エンジョイエアロ 4教室	各40名
	4月～12月	10	エアロ&ストレッチ 4教室	各40名
	4月～3月	10	健康体操 8教室	各40名
	4月～3月	10	ピラティス 8教室	各40名
	4月～3月	10	フットケア&エアロ 4教室	各40名
	4月～3月	10	ピラティス 8教室	各40名
	4月～3月	10	エアロ&コアシェイプ 4教室	各40名

○健康づくり講座

県民及び健康・体力づくり関係指導者を対象に、スポーツ科学に基づく健康づくりの進め方について理論と実技の講座を開催する。

講座名	内 容	対 象 者
健康づくり指導者講座 (年1回)	健康・体力づくり関係指導者の資質向上を図るため、健康づくりにおける正しいアプローチ方法、生活習慣病の予防や改善、正しい減量等について学ぶ。	健康・体力づくり関係者
健康づくり県民講座 (年4回)	健康増進に関する内容を、スポーツ科学的な観点から学ぶ。	一般県民

○スポーツ科学講座（年2回）

各種スポーツの指導者を対象に、スポーツ科学・スポーツ選手の指導等に係わる専門家の講師による講座を実施する。

(2) 総合スポーツセンター東総運動場

ア スポーツ振興

ジョギングコース及びヒルトレックコースの整備を行い、県民の健康及び体力づくりに貢献する。また、総合型地域スポーツクラブの育成を支援する。

イ 自主事業

○スポーツイベント・教室開催

県民の健康体力づくりを支援し、生涯にわたる健康の保持増進と明るく豊かな生活を送るために、各種イベント及び教室を実施する。

イベント・教室

事業名	回数	内容
つばき杯グラウンド・ゴルフ大会	年 2	中高年齢者の健康体力づくりを支援するとともに、競技の普及・拡大を目的として大会の開催
つばき杯ビギナーズテニス大会	年 4	県民の健康体力作りを支援するとともに・競技の普及・拡大を目的として大会の開催
スポレクフェスタ	年 1	生涯スポーツ・地域スポーツの振興及び県民サービスを図るため実施

○健康づくり講習会

中高年齢者や若年齢化する生活習慣症予防に、健康の保持増進や地域における高齢者の健康づくりの進め方について、理論と実技の講座を開催する。

ウォーキングやストレッチ、健康体操等を年3回程度開催する。

○芝生の感触体験会

近隣の保育園・幼稚園児を対象に、年1回様々なレクリエーション体験の機会を提供する。

(3) 総合スポーツセンター射撃場

ア ライフル射撃の普及並びに競技者及び指導者の育成事業を実施する。

イ 自主事業

○教習射撃講習…… 教習射撃指導員によるライフル銃の教習射撃及び検定の実施する。

○ルール講習会（審判講習会）……ルールに関する講習会を開催する。

○デジタル射撃普及会

ビームライフル及びデジタルピストルの体験射撃会（参加費無料）を年9回開催し競技の普及を図る。

千葉県国際総合水泳場

1 県国際総合水泳場の概要

国際的な大会をはじめとする各種競技会が開催できる、日本水泳連盟公認水泳場であるとともに、年間を通して幅広く県民が利用できる本県の水泳競技の中心施設である。

平成元年度に策定した設置構想を基に、平成2年度に学識経験者等から構成された総合温水プール(仮称)設置検討委員会が組織され、平成3年度を初年度とする「さわやかハートちば5か年計画」における「中核的スポーツ施設の整備事業」の一つとして位置付けられ、平成8年2月に完成した。

平成18年4月1日から管理運営を指定管理者に委託した。施設の概要は次のとおりである。

(1) 施設の概要

所在地 習志野市茜浜 2-3-3

敷地面積 17,633.11㎡ 建築面積 13,016.77㎡ 延床面積 24,282.22㎡

構造 鉄筋コンクリート造, 屋根鉄骨造, 地下1階, 地上3階建て

施設名	施設概要
メインプール	50m×25m 10コース(コース幅2.5m 水深2m) 50m国際基準プール8コース(長水路) 短水路公認15コース
飛込プール	25m×25m(水深5m) 国際基準(飛台10m, 7.5m, 5m, 3m 飛板3m, 1m)
サブプール	50m×18.5m 8コース(コース幅2.25m 水深1.2~1.4m) 標準競泳8コース(長水路)
初心者用プール	15m×5m(水深0.6~0.8m)
トレーニング室	各種トレーニング機器 有酸素マシン(21台) 筋力トレーニング系マシン(エア式11台, 他5台) フリーウエイト
観客席	メインプール及び飛込プール 3,662席(身障者スペース有) サブプール 187席
大型映像装置	4.8m×10.56m 高輝度フルカラーLED方式
会議室	第1会議室 82.8㎡(定員40名) 第2会議室 115.2㎡(定員70名) (仕切りを外して1室としての使用可 定員120名)
大会関係諸室	役員控室, 記者控室, 表彰準備室, 放送室, 映像操作室, 応接室, 貴賓室, 選手控室, 救護室, マッサージ室
駐車場	171台(身障者用4台含む)

※プールはすべて屋内温水

(2) 施設の特徴

ア JR京葉線「新習志野」駅前に位置し、駅前広場と一体型の都市機能を有する。

イ 年間を通じて利用できる「通年型」プールであり、水面積・固定観客席等の施設規模では国内有数の施設である。

ウ 国際大会を始め、各種競技会が開催できる公認のプールと初心者や身体障害者でも安全に利用できる初心者用プールを備えている。

エ ソーラーシステム(サブプール床暖房, プール用水の加温に利用)や, 雨水利用(300t)の雨水槽を設置し, ろ過後トイレ汚水処理に利用)を取り入れた省エネタイプの施設である。

2 施設の利用状況

(1) 利用人数

	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
国際総合水泳場	437,077	427,691	443,751	431,075	452,377

(2) 無料開放

6月15日の「県民の日」及び10月第2月曜日の「体育の日」は、すべてのプールとトレーニング室を無料開放する。(駐車場は有料)

3 事業概要

(1) スポーツ振興

国際的な大会をはじめとする各種競技会が開催できる、本県の水泳競技の中心的施設として、指導員の育成及び選手強化事業並びに各種競技会等に施設を貸出し、水泳競技の競技力向上に寄与する。

また、通年利用の温水プールとして、県民の水泳を通じた健康・体力の維持・増進に関わる幅広い要望に応え、生涯スポーツ活動の推進に寄与する。

(2) 主な自主事業

事業名	内容	実施時期
イベント開催	スーパースイマーズ水泳教室	5～3月
	水泳競技大会	年2回
各種講習会の開催	健康づくり講習会	通年
	安全水泳講習会	6～8月
	指導員育成講習会	通年
	日本赤十字社水上救助員資格講習会	3月
	日本赤十字社救急法救急員資格講習会	2月
スポーツ振興	児童スイミングスクールの開催	通年
	成人健康づくり教室の開催	通年
	飛込み教室	4～2月
	日本泳法教室・水球教室・シンクロナイズドスイミング教室	通年
	短期水泳教室の開催	年3回
	短期成人スポーツ教室の開催	通年
	飛込み競技講習会・競泳スタート教室	4～2月